

ビデオα

アルファ

2010
June

6

特集

デジタル動画の実用度

ニコンD90×劇場映画「結び目」
キヤノンEOS 5D Mark II×日テレ「職のプライド」
オリンパス・ペンE-P2×TBS「世界ふしぎ発見！」
EOS 5D Mark IIの24p記録と編集を検証
EOS 7DとKiss X4の動画性能を比較 ほか

最速レビュー

フルHDファイルベースカメラレコーダー
キヤノンXF305

短期集中連載

Adobe CS5
Production Premiumの実力

New Products Review

ポータブルマルチトラックレコーダー
ティアック タスカムDR-680
移動用スライダー
シネマックス
CMX-XY SLIDER 100X/64Y
ユニバーサルメディアリーダーライター
Sonnet Technologies Qio
ポータブルビデオストレージ
NextoDI
VIDEO STORAGE pro NVS2500
フルHD動画対応コンパクトデジタルカメラ
ニコンCOOLPIX P100

Test Report

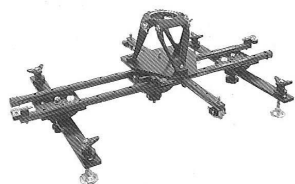
7.4型業務用有機ELモニター
ソニーPVM-740
2k/4kデジタルシネマカメラ
RED Digital Cinema
RED ONE Mysterium-X

デジタル×ビデオ コネクション

EOSで鉄道を撮る
コンパクト一眼で動画撮影

2010 NAB Show
Where Content Comes to Life

前後左右の動きを組み合わせ自由な移動が可能



シネマックス リニアレールブロック使用移動用スライダー CMX-XY-SLIDER 100X/64Y

日本映画撮影監督協会 小山 一彦 JSC

いまや、映像表現に欠かせないのが特機である。映画やテレビドラマ、PV、CMの撮影現場には、かならずレールやクレーンなどさまざまな特機が準備されている。それらの特機はますます大型化し、中には地上高15mを誇る巨大なクレーンも登場している。レールドリーは最近のバンクーバーオリンピックのスピードスケート競技場などでも使用されている。超ロングレール上を高速で走るリモートコントロールカメラがつくり出す、鬼気迫る表情のスケーターたちの映像が視聴者に驚きと感動を覚えさせたのは記憶に新しい。

大型化とリモート化する特機界にあって小型で扱いやすく自由自在にカメラを操れるアナログの機材として画期的ともいえる特機が登場した。これまでさまざまな特機の開発に取り組んできたシネマックスより新しく発表されたレールドリーCMX-XY-SLIDER100X/64Yである。

直線レールを組み合わせ自由な動きを

筆者は最近3D立体映像に取り組んでおり、3D映像視覚効果として、特機が果たす有用性には大きなもの



写真2 J:COMの3Dオープニング映像を撮影中の筆者

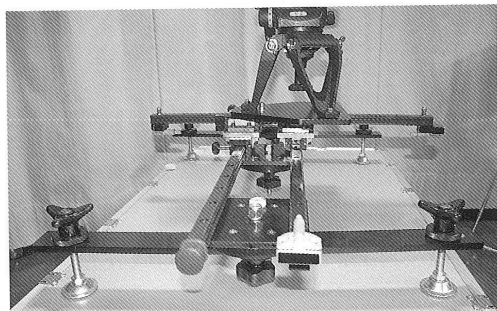


写真1 CMX-XY-SLIDER 100X/64Y

があると考えている。このCMX-XY-SLIDER100X/64Yは大いに活用できるのではとひそかに思いつつ、実際に3D撮影に試用してみた。

通常われわれが使用しているレールには2種類がある。1つは直線型レールであり、もう1つは曲線型レールである。通常撮影現場ではそのショットの内容によって移動距離を計算し、直線型レールを何本かつなげて撮影する。あるいは曲線型レールを使うのか、ときには直線型と曲線型を組み合わせるのか、どちらかである。

CMX-XY-SLIDER100X/64Yの最大の特徴は、X軸Y軸に交差する直線レールを組み合わせた点である。横への移動にプラスして、同時に縦方向への移動が可能となっている。つまり被写体を立体的に撮影できるという機能を有している秀逸なアイデア製品なのだ。この形状はこれまでになく、世界初として実用新案申請中である(写真1)。

レール長はX軸が1000mm、Y軸が640mmと短く、テーブルサイズのレールであることがわかりいただけると思う。設営もドリーより楽である。

写真2は、現在、3D立体放送を配信しているJ:COMのオープニング映像の撮影現場である。レール上の走

写真3 ヘッドとの結合部分

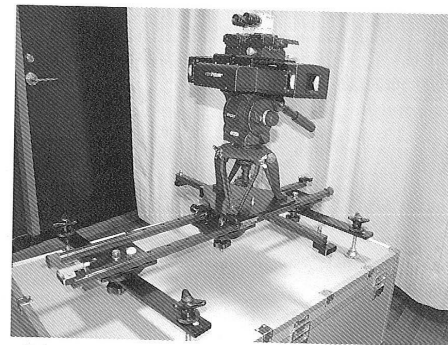
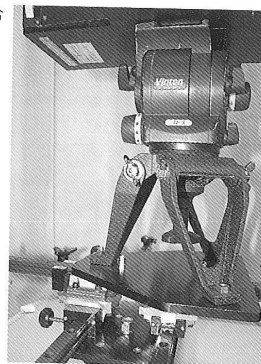


写真4 3DカメラシステムをCMX-XY-SLIDER100X/64Yに搭載

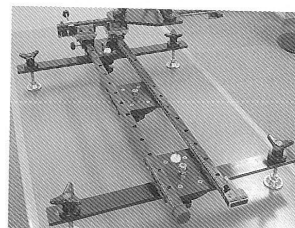


写真5 X軸は1000mmの長さをもつ

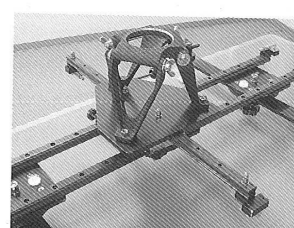


写真6 Y軸は640mmの長さをもつ

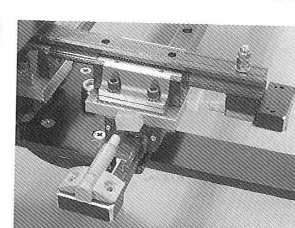


写真7 ダンパー

りに引っかかりがまったくなく実にスムーズである。

単純な左右の移動や前後の移動はもちろんのことであるが、XY軸の交差点を自由に選択することにより、自由自在にカメラポジションをコントロールできる。左右の動きに前後の軌道の動きを加えることで、円軌道上をカメラが走ることも可能なのだ。それも左回りから右回りへと途切れることなく連続的に移動できるのである。

顔の感覚内での移動効果

「ミニジブクレーンに対応できるのではないかと」お考えの読者もおられると思うのだが、あにはからんやカメラマンにとって三脚ヘッドが手の内で左右前後に動くことが心地良いのである。もっといえばmm単位でカメラマンの鼓動そのものをレールショットに伝えられることがとても新鮮だ。

レール効果はカメラマンとしてときに妙味である。観客を客観的な立場から急激なレール移動によって対象物への接近を図ったり、ときには主人公の主観移動で使ったりと、演出意図として巧みに活用されている。

しかしこれらのレールショット効果は身体的な移動感

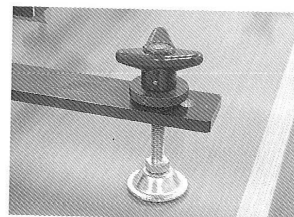


写真8 支柱。四辺で支持する

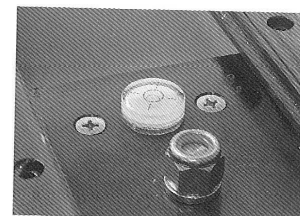


写真9 水準器

覚の表現であるのに対し、CMX-XY-SLIDER100X/64Yの移動ショットとは、顔の感覚内での移動効果なのである。それは脳の移動ショットともいえる。人間の脳における立体認識に近く、いわば「掌」感覚のリアリティ効果をもたらしてくれる。

★ ★ ★

3D立体だけではなく、2D平面映像の表現効果として、商品撮影が主であるコマーシャルや、主人公の微妙な感情の揺らぎを表現する劇映画やテレビドラマの俳優のアップサイズのレールショットとして、またテレビ料理番組の料理などの美味しそうな具材のアップを移動で見せるなど、CMX-XY-SLIDER100X/64Yの微細な動きがより効果を発揮してくれるのではないかと期待できる。

価格：オープン(参考価格：¥49万9000/税込)
発売：2010年5月1日 問い合わせ先：シネマックス
TEL 04-2944-4691 URL: <http://www.cinemax.jp>